

らくのへ 議会だより



六戸町議会
ホームページ
QRコード



12月24日、メイプルイルミネーションきらめく中で、あすなるコーラスの皆さんが歌声を披露しました。厳しく冷え込んだ会場内も、温かなハーモニーに包まれているうち、寒さが少しだけ和らいだように思われました。

【新年の抱負】	
新年のごあいさつ	2
【議案審議】	
12月定例会で決まったこと	3
【一般質問】	
オストメイト用トイレ設置、健診率向上の取り組み など ...	4
【議員活動ほか】	
タブレット端末の意義や活用法を学ぶ	5

新年のごあいさつ



明けましておめでとうございませう。

令和4年という新しい年を迎え、気持ちも新たに日々の生活に勤しんでいると思っております。本年が町民の皆さまにとって明るく、そして穏やかな年となることを願い、町議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。日頃より、議会活動並びに町政全般に対して、ご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼を申し上げます。振り返って見ますと、昨年にも実にくさんの出来事がありました。新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延に歯止めをかけるため

に、ワクチン接種が始まったのは春まだ浅い頃でした。数多くのトラブルを抱えながらも2回の接種を無事に済ませて、大いに安堵したのは私だけではなかったと思っております。ワクチン接種に際して、昼夜を問わず業務に邁進された医療従事者や関係者の皆さまのご苦労に対して、この場をお借りして改めてお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症との闘いは未だ道半ばではあります。令和4年が一つの契機となり、事態が早期に収束へと向かうことを願って止みません。

一方、7月23日に開幕した東京オリンピックでは、日本人選手の活躍に日本中が沸き立ち、暑い夏を過ごすことになりました。ソフトボールや野球の金メダル獲得に始まり、柔道・競泳など多くの種目でメダルラッシュは記憶に新しいところで、その余韻に浸りながらその後に開催された東京パラリンピックをご覧になったという方も多かった

のではないのでしょうか。暗い世相の中、数少ない明るい話題であり日本中に、そして世界の人々に勇気と希望を与える大会だったのではないかと思えます。

実りの秋を迎え、豊作にほっと胸を撫で下ろした頃、米価下落のニュースが町内外を駆け巡りました。六戸町の基幹産業である農業への影響を特に心配し、町議会としても産業民生常任委員会を中心として町への意見書提出を行うなど、町に對する働きかけを行いました。コロナ禍に端を発しているということもあり、影響の長期化も指摘されておりますが、町議会としても支援を続けたいと思っておりますので、この難局を関係者の皆さまと共に乗り切っていけたらと思っております。次第です。

このような中であって、町議会では、常任委員会の活動や議員研修会の開催などを通して、ますます重要となる議会の役割や責任を自覚しながら、新たな議会改革の手法も随時取り入れ

て、議員個々の資質向上を図り更なる議会改革の実現に取り組んでまいりたいと思っております。

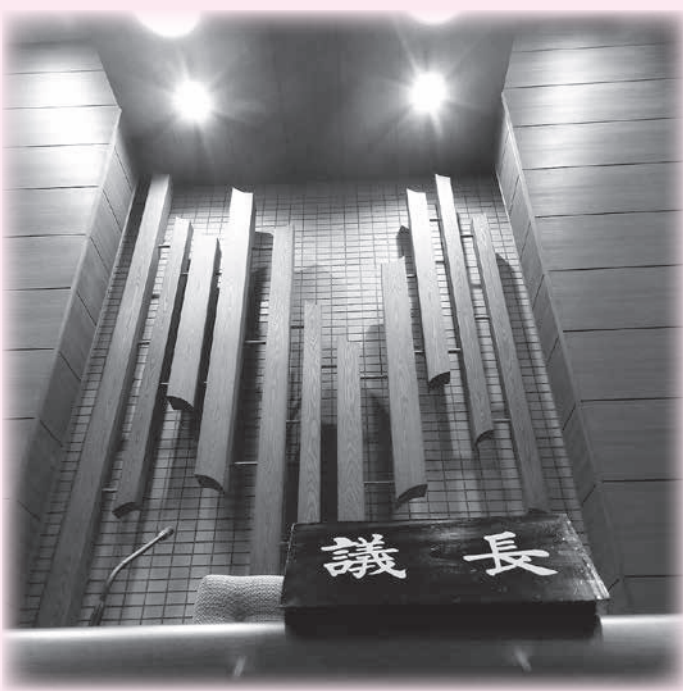
今後におきましても、町民の皆さまからの付託を心に刻み、町執行機関と緊張感を持って、皆さまの幸せを願い、皆さまと共に歩む議会となれるように全力を尽くす所存でございますので、尚一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、苦境であるからこそしっかりと前を向き、一步一步着実に前へと進むことでこの困難を克服することを強く願うと共に、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

令和4年1月

六戸町議会議員

川村 重光



12月定例会で決まったこと

12月定例会が3日から7日までの会期で開かれました。一般質問のほか町長から提出された議案11件の審議を行い、全て原案のとおり可決しました。

次のページは 一般質問

12月定例会の4日目に一般質問が行われ、盛田嘉彦議員が登壇しました。一般質問は、3月、6月、9月、12月に行われる定例会において、議員が町の施策の状況や将来の方針などについて、問いただしたりすることをいいます。

質問者と内容



もりた よしひこ
盛田 嘉彦 議員

- ①オストメイト用トイレ設置について
- ②健康増進事業について
- ③がん精密検査助成事業について

一般質問とは

- 定例会に限り、町政全般に関して議員が質問できます
- 質問項目は事前の通告が必要です
- 質問者の順番は通告した順番で行われます
- 質問形式は「一問一答方式」で行います
- 同一項目について質問の制限はありません
- 一人60分の制限時間があります

議会を傍聴してみませんか？



次は3月に定例会があります。

☎ 議会事務局 ☎55-4547

補正予算

一般会計補正予算では、歳入歳出に1億826万4千円を増額し、総額で57億8764万4千円となりました。補正の主な内容は次のとおりです。

- 定住促進新築住宅建設補助事業補助金 1736万円
- 新型コロナウイルス感染症対応経済支援対策 飲食店等減収支援臨時給付金 1200万円
- 新型コロナウイルス感染症対応に伴うワクチン接種業務、接種予約業務など 867万円
- 主食用水稲減収緊急対策事業補助金 2380万円

質疑

主食用水稲減収緊急対策

◆主食用米1俵あたり340円を補填します。

☎ 松橋一男議員

7割ほどの方がナラシ対策や収入保険に加入しているのをそれを加味して補填額を算出したとのことだが、残り3割を削った根拠は。補償というものは個人が加入する任意保険とは関係なく、一律に支給するものだと思うが。また、白米で出荷している方も対象となるのか

☎ 佐藤農政課長

7割については概ね加

入していることを踏まえ、まず減収補填という形を取りました。また、保険と減収補填は意味合いが違うと思います。

白米での出荷については、あくまでも玄米として考えていますので、玄米での収量としています。

条例改正

奨学資金貸付基金条例

◆奨学資金貸付対象者を現在の大学のほか、大学院、短期大学、高等専門学校(第4学年以上)、専門学校に在学する者と拡大しました。

質疑

☎ 種市正孝議員

条例改正理由の、奨学金利用者減少の要因は。

専門学校などは早い時期に可否の判定が出るが、周知方法の改善は。返済方法の変更はないのか

☎ 長谷教育課長

他の奨学金制度のほうが、無利子や返済という部分で充実しており、それが減少要因だと思います。現在の周知だけでは足りないと思います。選考委員会の開催時期を検討し、早めに対応したいと思います。

返済については、現在と同じ方法で考えています。

電源立地地域対策交付金事業基金条例

◆電源立地地域対策交付金の管理、運用に向けてより適切な管理と運用を行うために、電源立地地域対策交付金を基金に積み立てる際の条例を制定しました。

質疑

☎ 下田敏美議員

過去に5年以内で予算執行しなければ、超えた分は返済しなければならぬという規定があった。今はどうなっているのか

☎ 小林企画財政課長

今は基金を積んだ場合10年以内に事業を行うこととなっています。ただし、5年での計画見直し、精査が必要となります。



もり た よし ひ こ
盛田 嘉彦 議員

オストメイト用トイレを
道の駅に設置する考えは

道の駅の屋外トイレへ
設備を整備したいー町長

問 オストメイト（人工肛門・人工膀胱保有者）用のトイレは、他にも小さい子供を持つ人や高齢者など多くの人が使うことができる。これを道の駅に設置する考えはあるか

用設備の整備を考えています。また、他の公共施設についても大規模改修などを行う際には、オストメイト用トイレを設置するように取り組みたいと思います。

答 町長

町として町民の、六戸町を訪れる方々の利便性と福祉をより向上させるために、道の駅屋外トイレへのオストメイト



洗浄用のシャワーも付いたトイレ

コロナ禍での健診の状況と
健診率向上に向けての取り組みは

各種事業との組合せで向上を図りたいー町長

問 コロナ禍で健診控えの状況が見られる。特定健診やがん検診の受診率を上げることがかなり重要だと思うが、どのように取り組んでいるのか

答 町長
現在、検診車等による集団検診と、医療機関等で受ける個別健診、人間ドックを実施していますが、新型コロナウイルスの影響による受診控えの傾向があり、ほとんどの項目で受診率の減少が見られます。今後、個別健診先の拡充、国保人間ドック個人負担軽減事業や元気アップポイント事業などの継続事業との組合せにより、受診率向上につなげていきたいと思っています。

がん検診で再検診が必要とされた人のうち、60歳以下の人に対して費用の助成を行っているが、全ての町民を対象にすることはできないか

問 がん検診で再検診が必要とされた人のうち、60歳以下の人に対して費用の助成を行っているが、全ての町民を対象にすることはできないか

大することは考えていません。

現時点で対象年齢拡大は考えていないー町長

答 町長
60歳以下の方を対象としているのは、がんに罹患した場合に進行が早く、より生活に影響を与えると考えられるためです。早期に精密検査を受けていただくために助成事業としているもので、現時点では対象年齢を拡大

現時点では対象年齢を拡大



検診車を利用したがん検診

議会研修報告

タブレット端末の意義や活用法を学ぶ

1/11 総務常任委員会の事業計画にもとづいて、議員全員参加によるタブレット導入に向けての研修会を開催しました。

今までも議会改革で指導を受けた元青森中央学院大学の佐藤淳先生を講師に迎え、「タブレット端末の意義と議会及び議員としての活用法」と題して先進自治体の取り組みや議会の役割について講演をいただきながら、それぞれのテーブルに分かれて議員間で、熱心な話し合いを行いました。

タブレット導入は、ペーパーレスと議会内の通信機能が主でしたが、コロナ禍にあっては、インターネットを利用した意見交換会やビデオ会議、リモートの現地視察など、全国で感染防止に向けての取り組みが急速に進んでおり、学校のギガスクールや政府のデジタル庁発足もあつ

て、六戸町議会も素早く導入に向けて取り組もうと積極的な意見が寄せられました。

現在は、議員同士の連絡や情報交換をスマートフォンで行っていますが、タブレット導入により、よりデジタル化が進んだ議会を目指して町民の負託に応えていきたいと思ひます。



デジタル化が進んだ議会を目指し研修にも熱が



今年はソファの裏まで

12/14 恒例の議場等の大掃除を行いました。コロナ禍に対応するため、即決しなければならぬ重要な議案が目白押しの1年だったこともあり、自ずと雑巾を持つ手にも力が入りました。来年こそはコロナ禍が収束して良い年になれば、そう願いながら作業を終えました。



包まれながら作業を行いました。楓の中でもイタヤカエデは最も成長が早く、1年で1・5メートル、5年で5メートル、20年で20メートルになるそうです。六戸高校がここにあつた証として行ったイベント、私も卒業生として楓と子供達の成長を見守っていきたく思っています。
(盛田嘉彦)

広報委員の
ちょっと
ひと休み



先日、六戸高校主催で行われた、館野公園に楓の木200本を植える植樹祭に参加してきました。六戸小学校と六戸中学校の児童生徒も加わつた200人での作業、高校生が小中学生を指導して、楽しそうな笑い声に



キラリ
六戸人

町民の皆さんの
がんばりは町の元気!!

今回は六戸町でこども
食堂に取り組む川村輝
さんです。

かわむら 川村 輝さん

プロフィール：1987年生まれ。34歳。
川原新田地区在住。

北里大学卒業後、北海道へ就職。その後群
馬県・宮城県などの転動を経て31歳の時に六
戸町へ帰郷。帰郷後は保険代理店を営む傍ら、
こども食堂でのボランティア活動を始める。
父、祖母の3人暮らし。

座右の銘は「義を見てせざるは勇無きなり」
(人として成すべきこと知りながらそれを実
行しないのは、勇気がないからである)



こども食堂のボラン ティアのきっかけは

2年半前、31歳を機に
六戸へ帰って来た時に、
十和田こども食堂を兄か
ら紹介され、7人に1人
の子供が満足にご飯を食
べられないという衝撃的
なデータを知ったのが、
きっかけです。現在、こ
どもサポートろくへのヘ
イプルキッチンという名
前で、6人のスタッフで
活動しています。

六戸町のこども食堂の 活動は

十和田こども食堂代表
の水尻さんの活動を見て、
六戸町でもできればとや
らせていただきました。
最初は、六戸町社会福祉
協議会が年に何回か行
うひとり親世帯への食
材配布の活動にご一緒
させていただいて、こ
ども食堂でピザを調理
して配るということを
始め、前回はこどもサ
ポートろくへのヘイプ
ルキッチン主催で行
った食料配布事業で、

32世帯のひとり親世帯計
70名程に配布しました。

社会福祉協議会の職員
の方々にはご協力いた
だいて、本当に助かって
います。

こども食堂の 活動資金は

現在は、赤い羽根共同
募金の助成金の一部を社
会福祉協議会からいた
だいて、お米やおそば、
野菜の食材配布を行っ
ています。その事業をや
るだけで10万円近く
のお金が掛かりますが、
ゆくゆくは、民間の寄
付金も併せて活動が
できればと考えていま
す。

Uターンの理由は

大学を卒業した後は、
全国転勤のサラリーマン
をしていました。

29歳の頃に70歳にな
った時にどこに居たい
か考えた時、地元に戻
って自分自身で事業を
したいと思い、帰郷後
は八戸市で保険の代理
店をして

ます。

現在独身で、六戸の
実家で父と祖母と暮ら
しています。

今後の活動については

こども食堂のPRです
が、六戸町社会福祉協
議会の協力をいただいて
保育園、小学校、中
学校、高校にFAXする
やり方が一番良いと思
います。また私はあま
り料理が作れないので、
美味しい料理を作る
人に協力していただき
ながら、周りには、
民間の寄付金も併
せて活動ができればと
考えています。

そして四半期ごとに
野菜、そば、お米等の
食材配布の目標を立て
ると、40万円程掛か
るので、その寄付金の
調達をどうするか
が課題です。

聞き手 杉山茂夫
松橋一男

編集後記

明けましておめでとうござ
います。日頃より議会広
報活動にご理解ご協力を賜
り、厚く御礼申し上げます。
さて、異常気象・地球温
暖化が言われて久しい。

その影響なのだろう、イ
カ・サンマ・鯖・鮭等が不
漁とのこと。長年県南地方
の食卓を賑わせてきた魚介
類が不漁とは寂しい限りだ。
果物も不作だった。さくら
んぼ・りんごと記録的な高
値が続いたようだ。

さて、私が取り組んでい
る米作りはというと、前年
と比較して大幅な安値とな
った。これは気候によるも
のではなく、コロナウイル
スの影響が大きかった。さ
らに追い打ちをかけるよう
に稲刈り後の天候不順で稲
わらを回収できない圃場が
多く残った。

春の耕起を思うと気が重
い。「田園の憂鬱」だ。

広報委員 松橋 一男

議会広報委員会

委員長 盛田 嘉彦
副委員長 松橋 一男
委員 川村 重光
杉山 茂夫
長根 正孝
種市 孝

発行責任者

議長 川村 重光